

公益社団法人北海道農業改良普及協会 役員の報酬等及び費用に関する規程

(目的及び意識)

第1条 この規程は、公益社団法人北海道農業改良普及協会（以下、「当会」という。）の定款第30条に基づき、理事及び監事（以下、「役員」という。）の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とし、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下、「認定法」という。）の規定に照らし、妥当性と透明性の確保を図ることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 役員とは、理事及び監事をいう。

(2) 常勤役員とは、社員総会で選任された役員のうち、当会を主たる勤務場所とする者をいう。（主たる勤務とは、少なくとも週3日以上勤務していること。）

(3) 非常勤役員とは、常勤役員以外の者をいう。

(4) 報酬等とは、認定法第5条第1項第13号で定める報酬、賞与其他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であって、その名称のいかんを問わない。費用とは明確に区分されるものとする。

(5) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤費、旅費（宿泊費含む）、手数料等の経費をいう。報酬等とは明確に区分されるものとする。

(報酬の支給)

第3条 当会は、常勤役員の職務執行の対価として報酬を支給することができる。

2 常勤役員の報酬は年額とする。

(報酬等の額の決定)

第4条 当会の常勤役員の報酬総額は、会長が理事会の承認を経て、社員総会で決議するものとする。

(報酬の支給日)

第5条 報酬は年間報酬額を定める場合も含め、月額をもって支給するものとし、毎月一定の定まった日に支払うものとする。

(報酬等の支給方法)

第6条 報酬等は通貨をもって本人に支給する。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。

2 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申出のあった立

替金、積立金等を控除して支給する。

(通勤費)

第7条 常勤役員には、その通勤の実態に応じ、通勤費を支給する。

(費用)

第8条 当会は、役員がその職務の執行に当たって負担し、又は負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また、前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

(公表)

第9条 当会は、この規程をもって、認定法第20条第1項に定める報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、社員総会の決議を経て行う。

(補則)

第11条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、社員総会において別に定めるものとする。

附則

この規程は、当会の設立登記の日から施行する。